令和６年度（第２次募集）　⑤

面　接　調　査　書

受験番号	※

※印欄は記入しないこと

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏　　名		志望する 専攻・ プログラム	専　　攻 プログラム
生年月日 年　　齢	年　　月　　日生 2024.4.1 現在（満　　歳）	出身大学 卒業年月	国立 公立　　大学　　学部 私立 卒　　業 年　　月　卒業見込

修士課程を構成する 専攻・プログラム		入学後に予定している主たる研究領域 ※志願する専攻・プログラムの研究領域のうち必ず１つのみにチェックを入れること。 ※『東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）案内』「専攻・プログラムの教育研究の概要」又は本学修士課程ウェブサイト「教育組織・教員紹介」（学生募集要項４頁に URL 記載）を参照のこと。
次世代日本型教育 システム研究開発専攻		□地域研究　□比較教育・教育史　□日本語教育　□次世代教育
教育支援 協働実践 開発専攻	教育ＡＩ研究 プログラム	□情報ＡＩ　□コンピテンシー・学校心理　□教科内容・実践（文化） □教科内容・実践（身体）　□教科内容・実践（環境）
	臨床心理学 プログラム	□臨床心理学
	教育協働研究 プログラム	□生涯学習　□文化遺産教育　□ソーシャルワーク　□生涯スポーツ □多文化共生教育　□表現教育　□アート　□デザイン　□教育行政

希望する指導教員（希望がある場合は記入すること）	
（主）	（副）

入学志願 理　　由	

【記入上の注意】

１．全て自署により記入することを原則とする。

２．「希望する指導教員」欄について

・指導教員の希望は，主・副とも，希望がある場合に記入してください。なおこの記入にあたって，当該教員の事前の了解は必要ありません。

・入学後の指導教員は，ここに記載された希望どおりとならないことがあります。また，この指導教員の希望や入学後の研究領域の記載は，合否には影響しません。

主指導教員とは：志望する専攻（選択するプログラム）の担当教員１名が主指導教員として，入学後の指導を担当します。

副指導教員とは：主指導教員が必要と認めた場合，入学後に所属する専攻（選択するプログラム）にかかわらず，他専攻（教職大学院を含む）担当教員１名に指導を依頼することができます。また，自専攻・プログラムの担当教員で，主指導教員になれない教員からの指導を希望する場合，副指導教員として指導を受けることになります。

<table>
<tr><td>大学在学中
及びその後に
行った研究

※文書による説明では不足する研究成果等がある場合は，ポートフォリオにまとめて提出することも可。ポートフォリオを提出する場合は，その旨を明記すること。</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">入学後研究したい事項</td><td>研究テーマ</td></tr>
<tr><td>研究内容</td></tr>
</table>